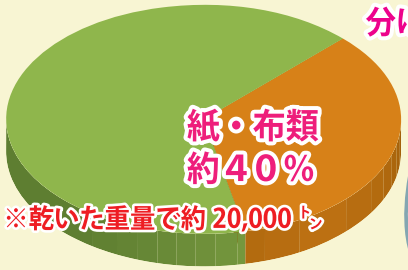
②紙・布類

「紙・布類」は燃さないで分別してリサイクル

「紙・布類」が「燃せるごみ」の中にまだまだ混入しています！

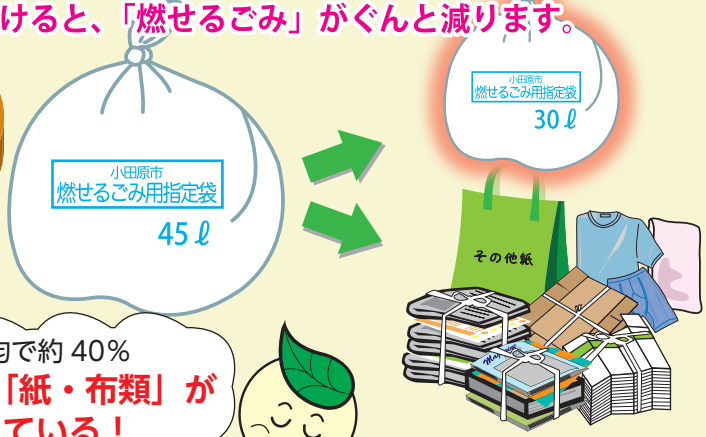
なぜ「紙・布類」の分別とリサイクルが必要なんだろう

小田原市の 2013 年度のごみの総量は、年間約 7 万 3820 ㌧で、そのうち「燃せるごみ」が 5 万 3260 ㌧。「燃せるごみ」を分析した結果、「燃せるごみ」の袋の中には「紙・布類」が約 40%も出されていることがわかりました。
これを各家庭で分別してもっと資源に出来れば、CO2 の削減と環境保全につながります。



〈燃せるごみの種類組成〉

リサイクルできる「紙・布類」を分けると、「燃せるごみ」がぐんと減ります。



「燃せるごみ」袋の中には平均で約 40%
紙の回収量の倍近くの「紙・布類」が「燃せるごみ」に混ざっている！

ほとんどの紙・布類は資源として再利用できます
資源として再利用できないものだけ「燃せるごみ」へ

再利用できない紙類

洗剤の箱、汚れた紙容器・トレー、
うらが黒いカーボン紙、感熱発泡紙、
アイロンプリント
バッグや靴の中に詰めてあるクシャクシャの紙
芳香剤などの臭気の強い紙箱
これらの紙類は、作った再生紙に悪影響がでます

再利用できない布類

綿入りのどてら・羽毛・ぬいぐるみ など
座布団、ふとん、枕、マット・カーペット
おむつ、雑巾、どろや油で汚れたもの

※マットレスやじゅうたんは大型ごみ
（12頁を参照）

古紙の分け方

紙・布類 ODAWARA

きちんと分けて…リサイクル！

古紙の分別、布類のリサイクルにご協力を！

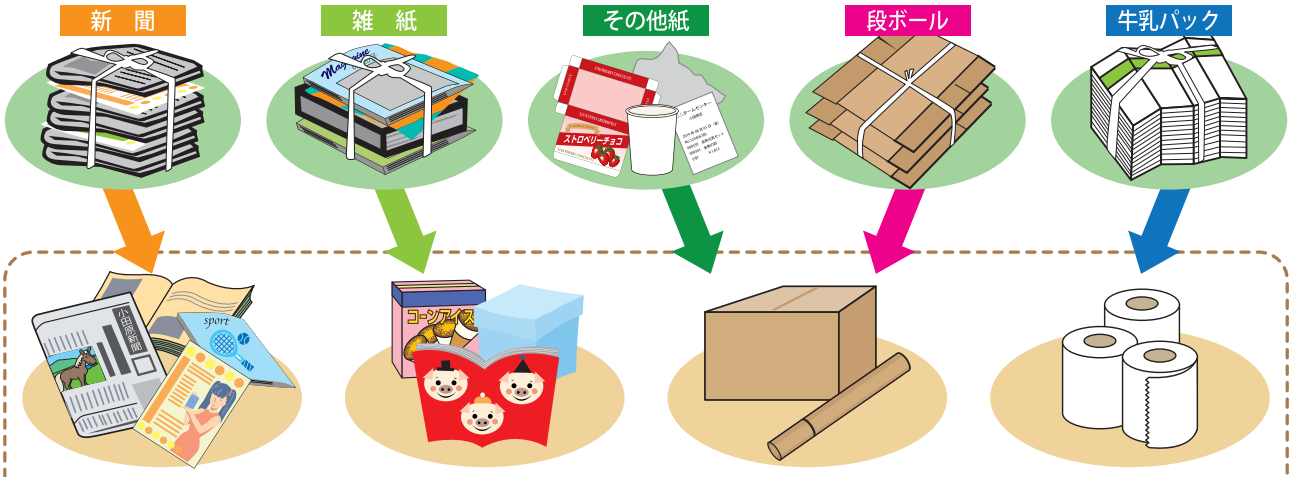
古紙の種類

古紙は種類によって再生される製品がちがいます。

新聞（折込チラシを含む）・雑紙・段ボール
牛乳パックは分けてかさばらないように
ヒモでしばって出しましょう！

その他紙は、ご家庭の紙袋にいれます

封筒・ハガキ・包装紙・紙コップ・メモ紙・レシート紙
家庭でシュレッダーした紙・細かい紙類・菓子箱
紙ケース・トイレットペーパーの紙芯など



古紙はさまざまな製品に生まれ変わります。

布類の種類

衣類・シーツ・タオル・毛布・シャツ・下着など
ボタンや付属品はそのまま取らずに

透明または半透明のビニール袋に
入れて出してください。

布類は、雨の日に
出さないでください。

リユース

品質の良い衣類などは国内外のリサイクルショップで中古衣料として再利用されます。

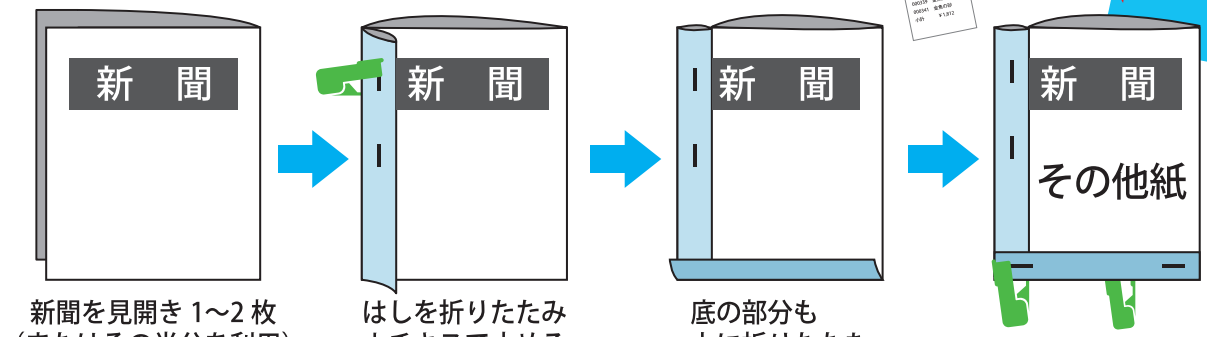
リサイクル

ウエス（機械、設備の油や水をふきとる布）や軍手、クッションなどに生まれ変わります。

「その他紙」用袋について

「その他紙」は、ご家庭の「紙袋」に入れます。
なければ新聞紙などで「袋」が作れます！

その他紙用の「紙袋」の作り方（例）



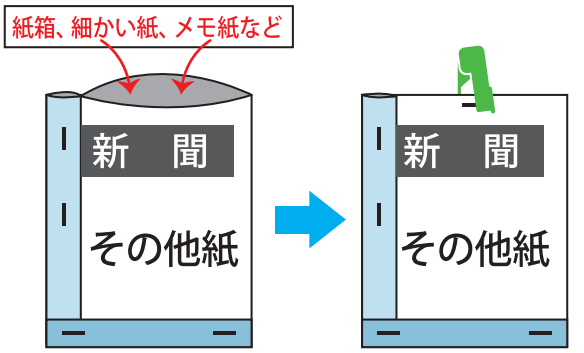
新聞を見開き 1～2 枚
（またはその半分を利用）

はしを折りたたみ
ホチキスで止める

底の部分も
上に折りたたむ

左右をホチキスで止める
上の部分が開口部

出す時に分かりやすく
その他紙とマジックで
書いておく

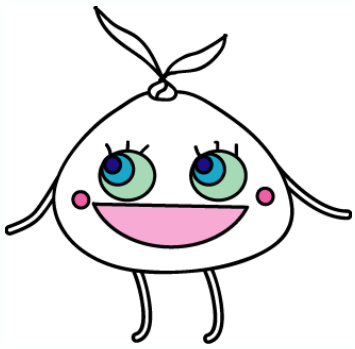


その他紙類
を中に入れる

こぼれないように
出す時はホチキスで
止める

新聞、雑誌、500 ㎖
以上の紙パックは別
に分別してください

荷づくり用の粘着
テープは使用しな
いでください



「その他紙」のゆくえ

分別回収された「その他紙」は、大きな梱包にまとめられ「製紙メーカー」で再生されます。

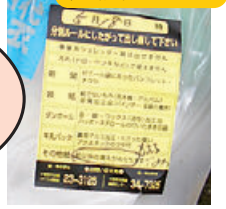
ごみと資源の収集日カレンダー「紙・布類」の日

決められたステーションに朝８時 30 分までに分別して出してください。

※資源として再利用できないものだけ「燃せるごみ」にしてください。

分別ルールが守られていない場合「違反シール」が貼られて残されることがあります。

違反シール



その他紙サンプル

小さな紙もその他紙

指定回収事業者が回収。（※組合のベストを着て横断幕をつけています。）

市内古紙問屋の大型プレス機で圧縮し１個１ﾄﾝ程に梱包します。

小田原市から製紙メーカーへ搬送。

コンベアーに乗せ、１度に４個（約４t）を大きなパルパー（大型ミキサー）へ入れます。

水を加えて 20 分ほど高速でかくはんして溶かし、古紙パルプをつくります。

古紙パルプから異物を取り除き乾燥させて巻き取り、段ボール原紙が製造されます。

「その他紙」は段ボール・紙筒などに再生されます。